

4. 介護保険特別会計

(1) 収支の概要について

本年度の予算現額は6,064,626千円であるが、これは当初予算額5,925,072千円に補正予算額139,554千円を加えたもので、当初予算に対する増加率は2.4%となっており、前年度の予算現額と比較すると142,111千円（2.3%）減少している。

また、決算額は歳入で5,778,724千円（増減率3.3%）、歳出で5,616,158千円（増減率3.2%）で差し引き162,566千円の黒字となっており、本年度実質収支額から前年度実質収支額152,089千円を差し引いた単年度収支額は10,477千円の黒字となっている。

決算状況比較表

（単位：千円）

区 分 \ 年 度	元	30	増 減 額	増 減 率（％）
予 算 現 額	6,064,626	6,206,737	-142,111	-2.3
歳 入 決 算 額	5,778,724	5,592,778	185,946	3.3
歳 出 決 算 額	5,616,158	5,440,689	175,469	3.2
歳 入 歳 出 差 引 額	162,566	152,089	10,477	6.9
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	-
実 質 収 支 額	162,566	152,089	10,477	6.9
単 年 度 収 支 額	10,477	-81,076	91,553	112.9

(2) 歳入の概要について

決算額の予算現額に対する比率は95.3%で前年度の90.1%より5.2%上昇している。

また、調定額に対する比率は99.7%で、前年度の99.6%より0.1%上昇している。

決算額の主な内訳は、支払基金交付金1,418,261千円（構成比24.6%）、保険料1,411,929千円（24.4%）、国庫支出金1,170,121千円（20.3%）、繰入金850,629千円（14.7%）、府支出金755,648千円（13.1%）などとなっている。

歳入状況一覧表

科目	区分	予算現額		調定額		
		金額	構成比	金額	構成比	予算現額に対する比
			%		%	%
保険料		1,377,256	22.7	1,430,790	24.7	103.9
使用料及び手数料		311	0.0	313	0.0	100.6
国庫支出金		1,207,409	19.9	1,170,121	20.2	96.9
支払基金交付金		1,532,214	25.3	1,418,261	24.5	92.6
府支出金		811,537	13.4	755,648	13.0	93.1
財産収入		463	0.0	462	0.0	99.8
繰入金		994,241	16.4	850,629	14.7	85.6
諸収入		103	0.0	19,272	0.3	18,710.7
繰越金		141,092	2.3	152,089	2.6	107.8
合計		6,064,626	100.0	5,797,585	100.0	95.6

更に決算額を分析すると、歳入決算額5,778,724千円は前年度より185,946千円（3.3%）増加しており、その内容は、使用料及び手数料で96千円（44.2%）、国庫支出金で86,195千円（8.0%）、支払基金交付金で77,088千円（5.7%）、府支出金で35,312千円（4.9%）、繰入金で56,259千円（7.1%）、諸収入で17,015千円（753.9%）それぞれ増加し、保険料で4,374千円（0.3%）、財産収入で569千円（55.2%）、繰越金で81,076千円（34.8%）減少している。

（単位：千円）

収 入 済 額				不 納 欠 損 額		収 入 未 済 額	
金 額	構 成 比	予 算 現 額 に対する比	調 定 額 に 対する比率	金 額	調 定 額 に 対する比率	金 額	調 定 額 に 対する比率
	%	%	%		%		%
1,411,929	24.4	102.5	98.7	6,757	0.5	12,104	0.8
313	0.0	100.6	100.0	0	0.0	0	0.0
1,170,121	20.3	96.9	100.0	0	0.0	0	0.0
1,418,261	24.6	92.6	100.0	0	0.0	0	0.0
755,648	13.1	93.1	100.0	0	0.0	0	0.0
462	0.0	99.8	100.0	0	0.0	0	0.0
850,629	14.7	85.6	100.0	0	0.0	0	0.0
19,272	0.3	18,710.7	100.0	0	0.0	0	0.0
152,089	2.6	107.8	100.0	0	0.0	0	0.0
5,778,724	100.0	95.3	99.7	6,757	0.1	12,104	0.2

(3) 歳出の概要について

決算額の予算現額に対する比率は92.6%で前年度の87.7より4.9%上昇している。

また、不用額は448,468千円で前年度に比べて317,580千円減少しており、予算現額に対する比率は7.4%で前年度の12.3%より4.9%下降している。

決算額の内訳は、保険給付費5,083,990千円（構成比90.5%）、地域支援事業費253,896千円（4.5%）、総務費135,852千円（2.4%）、基金積立金115,960千円（2.1%）、諸支出金26,460千円（0.5%）となっている。

歳出状況一覧表

(単位:千円)

区分 科目	予算現額		支出済額			翌年度繰越額			不用額		
	金額	構成比	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率
		%		%	%		%	%		%	%
総務費	143,217	2.4	135,852	2.4	94.9	0	-	0.0	7,365	1.7	5.1
保険給付費	5,467,084	90.1	5,083,990	90.5	93.0	0	-	0.0	383,094	85.4	7.0
基金積立金	115,960	1.9	115,960	2.1	100.0	0	-	0.0	0	0.0	0.0
地域支援事業費	309,576	5.1	253,896	4.5	82.0	0	-	0.0	55,680	12.4	18.0
公債費	10	0.0	0	0.0	0.0	0	-	0.0	10	0.0	100.0
諸支出金	27,310	0.5	26,460	0.5	96.9	0	-	0.0	850	0.2	3.1
予備費	1,469	0.0	0	0.0	0.0	0	-	0.0	1,469	0.3	100.0
合計	6,064,626	100.0	5,616,158	100.0	92.6	0	-	0.0	448,468	100.0	7.4

決算額を前年度と比較すると175,469千円（3.2%）増加している。

その内容は、総務費で3,999千円（3.0%）、保険給付費で264,437千円（5.5%）それぞれ増加し、基金積立金で57,811千円（33.3%）、地域支援事業費で4,123千円（1.6%）、諸支出金で31,033千円（54.0%）それぞれ減少している。

科目別年度比較表

（単位：千円）

科目	元 年 度		30 年 度		増 減 額	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
		%		%		%
総 務 費	135,852	2.4	131,853	2.4	3,999	3.0
保 険 給 付 費	5,083,990	90.5	4,819,553	88.6	264,437	5.5
基 金 積 立 金	115,960	2.1	173,771	3.2	-57,811	-33.3
地 域 支 援 事 業 費	253,896	4.5	258,019	4.7	-4,123	-1.6
諸 支 出 金	26,460	0.5	57,493	1.1	-31,033	-54.0
合 計	5,616,158	100.0	5,440,689	100.0	175,469	3.2

(4) むすび

本年度の決算は実質収支で 162,566 千円の黒字となり、単年度収支においても 10,477 千円の黒字となっている。

保険給付費は引き続き増加傾向で、今後もこの傾向が続くものと考えられる。高齢化社会が進む中、高齢者ができる限り要介護状態にならない、あるいは重度化しないよう、効果的な介護予防事業を推進し、また、地域支援事業の積極的な取組を通じて保険給付費などの増加を抑えるよう努めていただきたい。

そのような中で、引き続き実質収支は黒字を維持しており、また、一般会計からの繰入金は 850,629 千円と前年度より増加しているが、単年度収支は黒字へと転じている。

保険料では不納欠損額が僅かに増加したが、収入未済額は減少しており、徴収努力がうかがえる。今後も引き続き未収保険料の削減に努めていただき、本市として将来的な本会計の運営の安定化を図られるよう望むものである。